



とうかい

国家公務員共済組合連合会 東海病院
〒464-8512
名古屋市千種区千代田橋1-1-1
TEL 052-711-6131(代) FAX 052-712-0052
http://www.toukaihos.jp/

第55号 2017.1
編集責任者 丸田真也(副院長)

東海病院憲章

東海病院は公共的な保健・医療・福祉サービスを行う施設であり、地域の人々の健康と福祉に資することを目的とする。

私たちのKoKoRo(心)構え

3つのS 誠意…Sincerity
奉仕…Service
考動…Science

誠意東海病院職員は病院憲章の目的を達成するため、誠意・奉仕・考動の3つのSを大切にし、地域医療機関との緊密な連携に努め、限りない人間愛と責任をもって、地域の人々に保健・医療・福祉サービスを提供します。

2017年 年頭挨拶

病院長 山本 英夫 ……1

診療部長就任にあたりまして

診療部長 牧野 仁美 ……2

東海病院 部門紹介

～vol.2 薬剤科～ ……2

第7回市民公開講座より

胃がんの内視鏡検診と内視鏡治療について
内科医長 濱宇津 吉隆 ……3

超音波検査について

検査科技師長代行 森下 晴弘…3

新任医師のご紹介

整形外科医師 佐伯 将臣…4

内科医師 末澤 誠朗 ……4

診療と交通のご案内…4



東海病院
病院長 山本 英夫

あけまして、おめでとうございます。

皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は大変お世話になり、ありがとうございました。

昨年の診療報酬改定は、本体プラス0.49%、薬価等マイナス1.33%、全体ではマイナス0.84%と厳しい改定でした。また7対1入院基本料の重症度、医療・看護必要度の要件厳格化と要件に「救急搬送」が加わったこともあり、中小病院からみると大病院による救急患者を含めた患者獲得の動きがさらに強まったように感じました。そのような外部医療環境の変化が起こっている中、当院は昨年3月電子カルテを導入しました。導入後のトラブルは特にありませんでしたが、保健・医療・介護業務の効率化が図られるまでは、経営的に苦戦を強いられた年でした。

消費税10%へのアップが1年半(2019年10月まで)先送りされたため社会保障充実に向けた財源が不足することになりましたが、現政権では子ども・子育て支援や介護職員・保育士支援の充実策が優先され、医療・介護分野での削減が行われることになりました。具体的には、17年度予算概算要求段階で社会保障関係費の伸びが6400億円だったものを、高額薬剤(オプジーボ)の期中薬価改定、高齢者の高額療養制度見直し、後期高齢者の保険料軽減特例の見直し、介護納付金の総報酬割化などで、計約1400億円削減し5000億円の伸びに抑えることが決まりました。正確な社会保障費の自然増がどれくらいか不透明なところがありますが、小泉政権時代以上の医療費抑制だと述べている人もいます。2018年度には、診療報酬・介護報酬の同時改定もあり、年末までに様々な議論がされていくでしょう。これまで以上に厳しい医療環境になることも考えられ、その成り行きには目を離せません。

今年から本格化していく地域医療構想調整会議の中で、「病床の機能分化」が図られていきます。東海病院は、この地域の急性期医療—いわゆる「攻める医療」—に加えて、一層「支える医療」にも取り組んでまいり所存です。中小病院が生き残っていくためには、身を切る改革の覚悟も必要かと思えます。我々職員一同は、病院発展と建替え実現のため、一步一步、歩みを続けていく所存です。

本年も、何卒ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。皆様のご多幸を祈念して、新年の挨拶に代えさせていただきます。

KKR とは?

国家公務員共済組合連合会の
頭文字をとった略称です。



診療部長就任にあたりまして

東海病院 診療部長 牧野 仁美

新年あけましておめでとうございます。

この度、平成28年10月1日付で国家公務員共済組合連合会本部より診療部長の職を拝命致しました。平成15年8月に東海病院へ赴任し、10月より整形外科部長を勤め始めてから13年になりますが、それ以前は指導者としての経験もほとんどなく、毎日定時には仕事が終わる平穏な病院に勤務しておりました。東海病院は前任の部長が手の外科を専門としていたことから手の疾患を中心に年間600件を超える手術があり、仕事が深夜に及ぶことも珍しくない職場ですので、赴任当初は与えられた役割を果たすことができるのか毎日悩みながら試行錯誤の連続でした。常勤医の人数も決して十分とは言えない状況の中で、それでも毎年少しずつ手術件数を増やしながらか、平成19年には手外科学会基幹研修施設の認定を受けることができ、その後も症例を重ねて参りました。整形外科を始めさまざまな疾患に適応のある高気圧酸素治療器の利用促進を目指して、平成23年に日本高気圧環境・潜水医学会の認定病院となりましたが、学会ホームページを参照した施設などから治療依頼が次々と舞い込むようになりまして。多くの病診連携登録医の先生方のご協力や病院内外のスタッフの支えがあったからこそ、今日の東海病院整形外科があるものと心より感謝申し上げます。

診療部長に就任するにあたりまして、ちょうど13年前に感じた不安と同じ気持ちが胸に湧いたのは否めない事実ですが、これからは整形外科だけでなく、変化を続ける医療状況に対して東海病院がどのような体制で臨んでいくべきなのか、診療部として果たす役割を考えて実行していく所存であります。山本院長、丸田副院長を始め病院スタッフと共に、よりよい医療を地域の皆様に提供するために微力ながら努力して参りたいと存じます。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

東海病院 部門紹介 ～vol.2 薬剤科～

薬「クスリ」は、病気の治療に無くてはならないものですが、誤った使い方をすれば逆に毒「リスク」になってしまうこともあります。当院薬剤科では、「薬剤師は薬のリスクマネージャーである」をモットーに、医師・看護師などと連携して患者様が有効で安全な薬物療法を受けることができるよう努めております。患者様お一人お一人を大切に、我々医療従事者にとってではなく、『患者様にとって何が最善なのか・・・』を思考の原点として業務を行い、目の前の事柄に少しでも疑問があれば、どんなに忙しい状況でも“確認”してから先に進めております。当院のスローガンである「私達の心構え：誠意・奉仕・考動」を実践して、薬剤科スタッフ全員が、患者様をはじめ医師・看護師など他の医療従事者からもご評価いただけるよう、能力向上（知識・技術・業務量・迅速性・積極性・態度）に努めております。

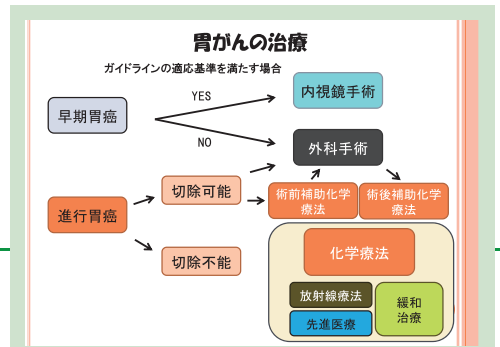
お薬についてご不明な点などございましたら、薬剤科窓口もしくはお電話でお気軽にお問い合わせください。



第7回市民公開講座より 胃がんの内視鏡検診と 内視鏡治療について

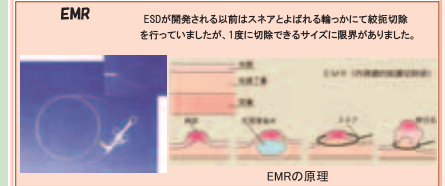
東海病院 内科医長 濱宇津 吉隆

胃がんの定義は胃の粘膜から発生した悪性腫瘍です。粘膜から胃壁の深くに浸潤していくことにより早期がんから進行がんへ移行します。胃がんはその進行度により様々な治療法があります(図①)。今回は各種治療法のなかでも内視鏡治療についてお話しします。内視鏡的治療には以前から行われていたEMR(endoscopic mucosal resection)と、最近主流となっているESD(endoscopic submucosal dissection)とがあります。EMR(図②)は、ESDが開発される以前に行われていた方法で、スネアとよばれるリングにて絞扼切除を行います。一度に切除できる病変のサイズに限界がありました。ESDは、図③に示したような方法で行い、大きな病変でも一括切除できます。内視鏡治療(ESD)のメリットは、i) 外科的手術で胃を切るより体への負担は少なく、術後の痛みもない。ii) 治療後の生活は食事を含めて特に治療前と変化がない。iii) 病変を一括で切除できるので厳密な治療効果判定が可能。といったことが挙げられます。内視鏡的治療を行うためには、早い段階で病変を見つけることが重要です。したがって早期発見のために定期検診が重要です。胃がんの検診にはバリウムを用いたX線検査と胃カメラがあります。一長一短がありますが、早期の状態で見つかるためには胃カメラが推奨されます。名古屋市では平成28年10月から胃がん検診(フンコイン検診)で胃カメラが受けられるようになりました。対象者は、市内に住居登録のある50歳以上の方で、お勤め先等で胃がん検診を受ける機会がない方です。また、X線検査は従来通り、市内に住居登録のある40歳以上の方で、お勤め先等で胃がん検診を受ける機会がない方です。胃カメラは2年度に1回、X線検査は1年度に1回受けられます。ただし胃カメラによる検診を受けた翌年度は、胃がん検診(X線検査、胃カメラ)を受けることはできません。胃がんは進行しても症状が出ないことが多いので、年に1回、できれば胃カメラでの検診を受け、早期発見・早期治療を心がけましょう。



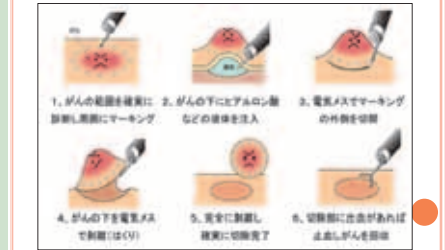
▲図①

EMR: endoscopic mucosal resection 内視鏡的 粘膜 切除術

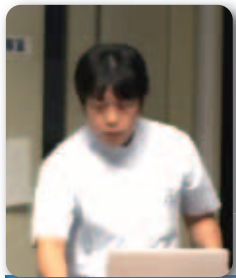


▲図②

ESD: endoscopic submucosal dissection 内視鏡的 粘膜下層 剥離術



▲図③



超音波検査について

東海病院 検査科技師長代行 森下 晴弘

超音波検査(エコー検査)とはプローブと言われる小さな器具から超音波を発生させ、その反射波を映像化することで内部の状態を観察することのできる画像検査の一つです。超音波は音の一種であり、ヒトの耳では聞きとることのできない20KHz以上の高い周波数の音のことを言います。一般的な超音波診断装置では3~20MHz前後を使用します。

観察できる部位は、腹部の大部分の様子を確認できる「腹部超音波検査」や心臓の機能を調べる「心臓超音波検査」、血管の詰り・乳がん・甲状腺がんなどを発見するための「体表超音波検査」など骨や肺を除けば、ほぼすべての部位が検査の対象になります(図1)。

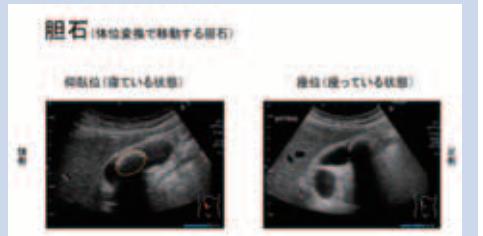
検査時に必要なものは装置と検査用ゼリーだけです。特別な準備は必要ありません。他の画像検査に比べて走査が簡便で必要なときに直ちに行う事ができます。他にも「体位変換にともなう貯留物の移動をリアルタイムで観察できる。」(図2)「任意の方向から病変部を立体的に把握することができる。」などの特徴があります。しかも、検査で使う超音波の周波数では、人体に対する影響は無く、放射線を使った検査で問題になる「被曝」の心配もありません(図3)。

しかし、医療用に使われている超音波では骨や空気を伝播しません。これにより、骨や空気の状態は確認できませんが、その先(深部)は観察しにくくなります。また、検者が意識をしないと観察されない場所がでてきてしまうこともあります。質の高い情報を得るためには、検者の知識と経験が非常に重要になってきます。

当院は、日本超音波医学会認定の超音波検査士(ソノグラファー)が常勤し、常日頃から精度の高い超音波診断を心がけています。病気の早期発見のためにも侵襲性の少ない超音波検査の経年受診を是非お勧め致します。

検査部位	検査できる疾患
肝臓	急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、脂肪肝、肝腫瘍、胆管炎、胆管癌、胆嚢炎、胆嚢癌、アルコール性肝症、胆管拡張性疾患(パネコプ、癌)、胆管狭窄症、胆管癌、胆嚢癌
胆嚢	急性胆嚢炎、慢性胆嚢炎、胆嚢結石、胆嚢癌、胆嚢炎、胆嚢癌、胆嚢炎、胆嚢癌
膵臓	急性膵炎、慢性膵炎、膵管狭窄症、膵管癌、膵臓癌、膵臓炎、膵臓癌
脾臓	脾臓腫瘍、脾臓炎、脾臓梗塞、脾臓癌、脾臓腫瘍、脾臓炎、脾臓梗塞、脾臓癌
腎臓	急性腎不全、慢性腎不全、腎臓腫瘍、腎臓癌、腎臓炎、腎臓癌、腎臓炎、腎臓癌
尿管	尿管結石、尿管狭窄、尿管癌、尿管炎、尿管癌、尿管炎、尿管癌
膀胱	急性膀胱炎、慢性膀胱炎、膀胱癌、膀胱炎、膀胱癌、膀胱炎、膀胱癌
前立腺	前立腺腫瘍、前立腺炎、前立腺癌、前立腺炎、前立腺癌、前立腺炎、前立腺癌
体表	乳腺炎、乳腺腫瘍、乳腺癌、乳腺炎、乳腺癌、乳腺炎、乳腺癌
心臓	心臓腫瘍、心臓炎、心臓梗塞、心臓腫瘍、心臓炎、心臓梗塞
その他	膵臓大動脈瘤、膵臓小動脈瘤、血栓、膵臓炎、膵臓癌、膵臓炎、膵臓癌

▲図1



▲図2

超音波検査の利点

- 特別な準備を必要としない
- リアルタイム画像の観察ができる
- 多方向からの観察が可能
- 柔らかい組織の描出能が非常に優れている
- 被験者(患者様)に苦痛や障害を与えない
- 検査する場所を選ばない

▲図3

